

第 18 回新市建設計画策定小委員会（議事概要）

日 時 平成 15 年 7 月 23 日（水）PM2：28～PM3：16

場 所 峰山町防災センター

出席者数 19 人

傍聴者数 4 人

主な議題

（1）協議第 1 号 新市建設計画について

議事経緯

委員長あいさつ

会議の成立確認

議題

（1）協議第 1 号 新市建設計画について・・・確認

主な意見

委 員 国の進める公共施設の建設、維持管理、運営等について、民間の資金や経営能力などを活用するプライベート・ファイナンス・イニシアティブ(PFI)の考え方を、将来の検討課題ということで盛り込めないか。

事務局 基本理念にある「ひとが育ち、未来に飛躍する・・・」の中で、「市民・企業とお互いに連携を強め、まちの活力を育て、支えあうことが可能」という表現で、理念的には入っている。また、基本施策の中の「自立的な市民参加によるまち」で、行財政改革として政策評価システムの導入を上げているが、これを突き詰めていくと民間に発注していくといったことが出てくるので、そこら辺でご理解願いたい。

委員長 主要事業の行財政改革推進事業の中に、「PFI 導入の検討」と入れさせていただく。

委 員 行財政改革推進事業の中に、財政改革となるものが出ていないようだが。

委員長 政策評価システムの導入や職員適正化計画の策定、地方独立行政法人制度の導入検討などは、歳出抑制ということで財政改革について表されていると考える。

町 長 周辺部に住むものは、この計画を担保して均衡ある発展を望んでおり、合併協定項目の 2 番として、「合併協議会の協議結果については、これを尊重する」とあるが、この中に、新市になりこの計画を変更する場合に、地域振興協議会に諮るという文言を入れられないか。

事務局 合併特例法では、建設計画の変更は市議会の議決が必要となるが、地域審議会を設けている場合、事前にそこに諮ることとなっている。

委 員 現時点では最善の計画であり、時間が経ち、新市のそれなりの姿が見えてくれば、変更しなければならぬことが出てくると考える。

委員 新市建設計画という大儀の中で、丹後はひとつというように広義に考えれば地域のためになるのではないかと。現在、まちづくりにおいては市街地が寂れ周辺部が栄えており、あまり地域にとらわれない方がよいのではないかと。

委員 久美浜町の住民説明会では、この素晴らしい計画をどうやって担保するかという意見が多く出されたので、文言を入れた方がよいと考える。

委員長 合併協定書に盛り込む方向で町長会で検討する。

町長 主要事業の保育環境整備事業等にある「幼保一元化」については、今国の方では国庫補助負担金の廃止の議論が本格化し、中でも保育所運営費の国庫補助金を廃止する議論が浮上し、その手法の一つとして幼保一元化がとりざたされている状況を見ると、この文言は削除すべきではないかと。

委員長 本日出た意見の修正を加え、新市建設計画の最終案として確認していただいたので、新市建設計画策定小委員会を終結する。